

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年10月30日

【事業所概要（事業所記入）】

| | |
|-----------|------------------------------------|
| 事業所番号 | 3470205646 |
| 法人名 | 社会福祉法人 藤愛会 |
| 事業所名 | グループホーム ハレ・クプナ |
| 所在地 | 広島市西区山手町19番3号 (電話) 082-503-0081 |
| 自己評価作成日 | 平成 24年 10月 10日 |
| 評価結果市町受理日 | 平成 年 月 日 |

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

生活の中での様々な関わりやつながりを大切にし、皆様の生活がよりゆたかで心地よいものとなるよう支援させていただいています。日々、ご家族をはじめ様々な方にもご協力いただき、一緒に生活をサポートしています。お一人お一人が安心して笑顔で暮らしていただけるように、お一人お一人のペースに合わせたケアに努めています。

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|--------------------------------|
| 基本情報リンク先URL | 介護サービス情報公表システム |
|-------------|--------------------------------|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|-------|-----------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 NPOインタッチサービス広島 |
| 所在地 | 広島市東区福田1丁目167番地 |
| 訪問調査日 | 平成24年10月29日 |

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

利用者家族をはじめ、地域の人々や関係者と活発な交流や協力が行われて運営がされているオープンな事業所である。運営推進会議に利用者家族にも多く参加いただいて意見交換が行われている。地域や事業所で多数の行事が企画され、職員が準備・運営などに協力し、地域住民と共に利用者が参加して楽しんだり活躍できる環境を作り出している。ケアプランの作成・運用も充実している。可能な限り家族も参加いただくカンファレンスを行い、その評価に基づいたケアプランを作成している。また、24時間のケアプランを作成して、そのケアを実現・実行している。建物・施設もグループホーム用に設計された充実した造りで、清掃が行き届き、きれいに維持されている。経験と自信を持つ職員が笑顔でケアにあたっている。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|------------|------|--|---|--|-------------------|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| I 理念に基づく運営 | | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。 | ・理念を各フロアへ掲示し、毎月のミーティングで復唱するなどして意識している。 | 事業所開設時に、法人理念の下、管理者2名が話し合って現在のグループホームの理念を設定した。新人教育で理念を教え、各フロアのスタッフルームに掲示している。また、法人理念、グループホーム理念を申し送り時あるいは全体ミーティングで唱和して共有と実践に努めている。 | | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。 | ・地域の行事(とんど・夏祭り・町内運動会)に参加するなど交流を意識している。 ・花火大会やフラダンスなどの施設行事に地域の方に参加してもらったりしている。 | 町内会に加入しており、町内会行事に利用者が参加したり、行事運営を職員が手伝うなど交流が行われている。また、事業所で行っているパッチワーク教室や花火大会・フラダンスなどに近隣住民を招き、交流している。地域のいきいきサロンもこの事業所で開いていただいております、利用者も含め地域の人々が参加して交流している。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | ・いきいきサロンや運営推進会議を通じて行なっている。 | | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている。 | ・運営推進会議では現状の報告をし、意見を聞くなどしている。 ・会議で出た意見を、参加していないスタッフにも申し伝えて、改善に活かそうとしている。 ・会議では家族の方との情報交換などでサービス向上に活かしている。 | 2ヶ月に1回の頻度で開催し、民生委員・地域包括支援センター・消防署員・市職員・利用者家族・職員が参加して、近況や行事報告などを行い、また、参加者からの意見や家族からの要望などをいただき、運営に活かしている。参加者に配慮して開催曜日や時間帯を調整したり、防災訓練と同時開催するなど工夫を行っている。 | | |
| 5 | 4 | ○市町との連携 市町担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。 | ・運営推進会議等の時は、市にも参加をよびかけてはいるが、なかなかそういった機会が持てていない。 | 書類提出の機会には持参して手渡ししたり、利用者への対応について相談するなど、コミュニケーションを取っている。運営推進会議にも毎回ではないが参加をいただいている。 | | |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | ・身体拘束については理解し、拘束しないケアに取り組んでいる。 ・玄関の施錠は常にではなく、見守りが出来る時は施錠しないようにする等し取り組んでいる。 ・身体拘束にあたると思われること(玄関の施錠・センサー・鈴等)を事故防止対策としてせざるを得ない状況の時にはしているが、身体拘束にあたることは意識しているので、外すことが出来ないか取り組んでいる。 | 新人には教育を行い、一般職員にも毎月のミーティングで指導を行っている。言葉遣いなどの気づきにくいことも職員で話し合いを持ったり、注意をするなどして身体拘束をしないケアを実践している。施設内の各ユニットの出入り口は自動ロック機構となっているが、必要な時を除いて開放しており、自由に出入りできる。 | | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている。 | ・ミーティング等で事例などを話す機会を設け、意識している。 ・職員同士で注意しあって防止に努めている。 ・毎月虐待がないかどうかをミーティングで確認している。 ・研修にて学ぶ機会をもった。 | | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している。 | ・研修等で学ぶ機会がある。 ・施設の玄関にパンフレットを設置したり、運営推進会議にて制度の説明をするなどしてご家族や地域の方、デイサービスご利用の方へもご案内し、相談に応じている。 | | |
| 9 | | 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | ・理解していただけるよう説明し、疑問があるときは遠慮なく尋ねていただくよう働きかけている。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | ・運営推進会議にて意見交換を行なう機会を設けている。 ・意見箱を設けていたり、来訪者への接遇アンケートを実施するなどして意見を聞いている。 ・利用者からは日々の係わりの中で、要望をケースへ記入し、申し送って反映している。 | 運営推進会議に利用者や家族も多数参加があり、多数の意見や要望を出していただいている。母の日の会議には、全家族に出席してもらい、意見をいただいた。また普段の家族等の来訪時にも職員が会話を働きかけ、コミュニケーションをとっている。いただいた意見・要望は必要に応じて記録や職員間で共有され、実施および報告がされている。玄関にはご意見箱が設置され、重要事項説明書に第三者苦情連絡先も明記されるなど、意見や要望収集体制が周知されている。 | |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | ・スタッフミーティングや毎回の申し送り等で意見をいう機会がある。 ・新しいスタッフは申し送りに出る機会が少なくなっていたり、発言しにくいところもあると思うので意見や疑問を尋ねる機会を意識して作っていきたい。 | 毎月の全体ミーティングや毎日の申し送り時に職員からの意見・提案を聞く機会がある。また 普段も管理者は職員とともに業務にあたり、話を聞いている。理事長・事務長は常々事業所を訪れる機会を設けており、報告や意見交換を行っている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。 | ・人事考課などで行なっている。 ・考慮してくれている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。 | ・研修には積極的に参加できるようにしている。 ・研修に行き、ミーティング等で報告している。 ・OJTにも努めていると思う。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。 | ・交流会の研修へ行かせてもらっている。 ・研修等で交流している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。 | ・特に最初はじっくりと関係作りをしている。細かな言動もケースへ記録し、スタッフ間で共有している。 ・関係作りを大事にしている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。 | ・要望があれば耳を傾け、努力している。 ・よく話し合って信頼関係を築く努力をしている。ご様子や変化がなかなか伝わらないこともあるのでその都度しっかりとお伝えしていくことが大事だと思う。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | ・その方のニーズをしっかりと聞きし、入居が適切かどうかを見極めている。他サービスのご案内もさせていただいている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。 | ・共に過ごしていくという意識を持っている。 ・会話の中から今までの知識を教えただけだったり、昔話を通じてお互いが支えあえる関係づくりに努めている。 ・家事のお手伝いをしてもらっているが、もっと働きかけて手伝っていただくべきだと思う。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。 | ・ご家族へ近況報告し、協力していただけるよう努めている。行事等、ご家族へご案内し参加していただいている。 ・まだまだ足りない部分はあるが、関係が築けるよう努力している。 ・“任せている”気持ちでいらっしゃるご家族もいるため難しいが、こちらから色々とお願ひして、ご本人と | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | ・訪ねて来られたり、外出し一緒に過ごされる方もおられ、そのような状況が継続できるような様子を伝え、困った事等あればお聞きし支援している。 ・ご本人が馴染みの場所をもう忘れておられたり、コミュニケーションが取りづらくなられたりしているが、大切にしていきたい。 | 家族・友人などが訪ねてこられた際は、職員からもコミュニケーションをとり、繰り返し訪問しやすい雰囲気を作っている。来訪の少ない家族には来訪をお勧めする工夫も行っている。年賀状や手紙の支援も行っている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | ・リビングでの利用者の席を考え、孤立しないよう努めている。 ・相性をみて対応している。 ・気の合う入居者同士で過ごす時間がもてるよう、フロアを越えて協力して支援している。それによって笑顔が増えたり、落ち着かれたり良い影響が見受けられる。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | ・入院退居された方のお見舞いに行ったりしている。 ・そういうことがあれば相談にのったり支援に努めたい。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | ・入居者様の行動や会話などで、本人の希望や意向の把握に努めている。 ・より良い生活が送れるように意識している。 ・フロアの状況などにより意向に沿った援助が難しいことがあるが、工夫していきたい。 | 日常の会話や様子から利用者の希望や思いの把握に努めている。声かけや様子も見て、したいことの支援を行っている。把握したことは記録するなど、職員で共有している。必要に応じてケアプランに反映することもある。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | ・ご本人だけでなく、ご家族にも聞くなどして把握に努めている。 ・情報などを生かしていると思う。 ・努めてはいるが、もっと一人一人の生活歴を話してもらい機会を持つようにしたい。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。 | ・気付いた点などを話し合ったり【今】の把握に努めている。 ・日頃から様子を観察し、記録し、把握している。 ・有する力はあるのにあまり動かずに過ごされている方がいるので、色々工夫していきたい。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。 | ・他のスタッフの意見を聞き話し合ったり、ご家族の希望、医療関係者にも意見を求めたりしている。これからターミナルケアをしていく方もおられるため協力してより良いケアをしていきたい。 ・問題があれば、その場その日に話し合いをするようにしている。 | 計画は、関係者で話し合い、意見を出し合って策定されている。その後は、3ヶ月毎にカンファレンスを開き、可能なら家族や利用者にも参加いただいてケアプランの評価を行っている。評価に基づいてケアプランを作成し、家族への説明をして署名をいただいている。期間途中でも必要時には話し合い、見直しを繰り返し、現状に即したケアプランを作成している。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 | ・個別のケース記録に記入し、申し送りノートなどで共有している。 ・記入はしているが、もう少し気付きや工夫、アイデアを記入してみるとよいと思う。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。 | ・その時々に応じ、一番良いと思われる事のサービスや支援をしている。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。 | ・病院や買い物、喫茶、地域行事等できるかぎり行ける場所へはお連れし豊かな暮らしとなるよう努めている。 ・理美容、ハーモニカ、アニマルセラピーや外出の付き添い等ではボランティアの方に生活を支援していただいている。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。 | ・支援できている。 | 契約時にかかりつけ医について事業所の支援を説明している。現在はほとんどの利用者のかかりつけ医は、事業所協力医となっている。協力医の往診が毎週、歯科医の往診は毎月1回あり、医師とコミュニケーションをとりながら適切な医療を受けられるよう支援を行っている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。 | ・利用者の異変や、変わった事など気付いたことは看護職員に相談し、アドバイスをもらっている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | ・病院関係者との情報交換をし、受け入れ態勢や早期退院にむけての相談をしている。また、入院中でも入院先に訪問し、状態の把握や環境の変化によるダメージが最小限となるよう努めている。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。 | ・かかりつけ医、本人、家族の意見を聞き、方針を共有している。 ・本人、ご家族の意向も変わっていくので難しいが、その都度話し合いたい。現場としては現状をしっかりと家族に伝えていきたい。 | 契約時に事業所のできる支援を説明し、その後、かかりつけ医・利用者・家族の意見を聞きながら、方針を決め共有するようにしている。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。 | ・救急法のDVDをミーティングで観たり、プリントを配布して全員で見たりしている。 ・自主練習を定期的に行なっていきたい。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 | ・避難訓練を定期的に行なっている。 ・町内とは協定を結び協力体制を築いている。 | 年2回防災避難訓練を行っている。消防署指導の下で行ったり、事業所単独で行うこともある。夜間を想定した訓練を主に行い、連絡や避難誘導を確認している。町内や近隣住民との協力関係を築いており、日ごろの関係も良好である。 | |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | ・特に声かけなど、自尊心を傷つけないように配慮している。失礼のないよう声かけ、対応を行なっている。 ・スタッフ間の連絡事項が、入居者の方へ聞こえないように配慮がもっと必要。 ・間違いを指摘しすぎないような声かけや、言葉遣いにはもっと気をつけるべき。 | 法人で開催する研修に毎年職員が参加して教育を受けている。また、ミーティングで、ことば遣いについて話し合ったり、業務中でも ことば遣いに配慮がない時は注意合っている。プライベート情報を含むカンファレンスの場所や書類の置き方にも配慮している。介護記録等の書類は専用の書庫に保管し、管理されている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | ・ご本人に問い、自己決定していただいている。 ・関わりの中で、希望が聞けるような話をしている。 ・「どっちでもいい」「何でもいい」という返事が予測できても、選択肢を示したり、「～してください」といった命令形ではなく、「～してもらえますか？」というお願いの声かけにし、ご本人に決定していただける声かけを心がけている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | ・出来る限りご本人の要望に沿って支援している。 ・なかなか完全にご本人のペースに合わせるの難しいが、思いに応じて食事を延食したり、入浴時間を気分に合わせて変更したりしている。 ・もっと一人一人のペースを大切にしていきたい。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・衣服や整容を気にして乱れがあれば声かけ、対応を行なっている。 ・理美容ボランティアに来て頂いている。 ・ご自分で服を選ぶことが出来ない方も多いが、洗濯が楽な服や、介助しやすい服ではなく、ご本人の好みの服装になるように気をつけている。 ・まだまだ出来ていないと思う。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・準備などを手伝っていただいている。 ・ご本人の誕生日等には希望を募って食事を摂る機会がある。 ・片付けのお手伝いはよくしてもらっているが、食事の準備がなかなか一緒にできていないので、意識していきたい。 | 1階の厨房で主な調理が行われているが、各ユニットでも味噌汁などの簡単な調理を行い、利用者も手伝える機会をつくっている。職員も一緒に食事をとりながら支援もしている。外食に出かけたり、おやつの買い出しを行うこともある。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・個人の水分量を記録し、一日を通して確保できるよう支援している。 ・食事の時に水分補給が難しい方には、食間に水分補給をしている。貧血気味の人には青汁を出したりしている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎食後に行っている。口臭のある方にはうがい液を使用したり、オーラルバランスを使用したりしている。 ・毎食後にケアをさせていただけない方には歯科往診時にクリーニングしてもらい口腔状態の清潔に努めている。 ・週に一度、義歯をポリドントで消毒している。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ペース、パターンなどに気付いて声をかけている。 ・習慣の変化に応じて、パットや紙パンツ使用を増減している。 | 利用者毎の排泄パターンを把握して、声かけを行っている。パットや紙パンツ使用を調整して自立に向けた支援に努めている。24時間のケアプランにも支援内容を記載して努めている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・朝・夕の運動や、薬の管理をしている。 ・下剤内服時に、しっかり水分を摂るようにしたり、体操を毎日したりしている。 ・水分摂取や運動の機会を持っているが、足りない気もする。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・体調やご本人の意思を聞きながら支援している。 ・好みのタイミングで入浴するのが難しい場合もあるが、希望に沿えるようにしている。 ・以前は夕食後に入浴を誘ったりしていたが、現在希望者がいないので、午後のみ行なっている。ただ、ご本人の希望や体力に応じて午前中に入ってみるのもいいと思う。 | 希望や体調を考慮しながら、1～2日おきに入浴をお勧めしている。入浴がすすまない利用者も入浴後は喜んでいただいている。状況に応じてシャワー浴や清拭を行うこともある。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・疲れや眠気が見えたときは無理せず休んでいただいている。 ・体調など変化に気付いて対応できるよう意識している。 ・事故対策として、夜間豆電球対応している方がいるが、それで不眠になるのであれば消灯するなど工夫 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・理解しており、変化・副作用などに気付くよう努めている。 ・目的などしっかりと把握するよう努めたい。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・楽しめる物事、テーマ、お話などを意識している。 ・散歩や洗濯など、外に出て気分転換などの支援をしている。 ・入居者の方全員に十分は出来ていないと思う。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・遠出はできないが、近くの店に出かけたり、散歩に対しては出来る限り支援している。 ・なるべくその時・その日で散歩に出たり支援している。 ・季節に応じイベントを開き外出している。 | 日常的な散歩や近くのお店への買い物などを支援している。また、駐車場には菜園があり、草取りや手入れ、収穫をしていただいている。スーパーへの買い出しに利用者も一緒に行くこともある。行事の企画も多くされており、外出機会は多い。家族の協力で一時帰宅や日帰りで行くこともある。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・買い物にお連れし支援している。 ・お金が所持できる方には持ってもらっている。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・希望があれば電話できるよう支援している。 ・ご友人への電話を支援している。 ・暑中、年賀はがきの時季には入居者の方へお声をかけている。 ・家族への電話がなかなか出来ない。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・夜間廊下の灯り(豆電球)を気にされて入眠されない時は一時消灯するなど工夫している。 ・季節感が出るようにリビングの壁を飾ったり、玄関に季節の花を置いたりしている。 ・リビング、廊下など毎日掃除をしている。 ・物音であったり、音量であったりを気にして行動している。 ・居心地よく過ごして頂けるよう意識している。 ・非常灯の灯りを気にされることがある。 | 玄関からエレベーターを使って、2階3階の各ユニットへ通じているが、バリアフリーで車椅子で楽に移動できる広さもある。リビング兼食堂、廊下ともに十分な広さがあり、清掃も行き届いている。窓からの採光や照明も適切で快適に過ごせる。壁には利用者の描いた絵や習字などの作品が飾られ、また季節ならではの干し柿が軒下につるされ、家庭的な雰囲気をかもししている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・その時々々の状況を見て声かけ、誘導、提案などを行なっている。 ・リビングに畳やソファを置き、過ごせるようにしている。 ・そのフロアで居場所感が持てない時は別のフロアへ遊びに行ったりして工夫している。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・使い慣れた物、本人が持ってきた物などで安心していただけるよう努めている。 ・意識している。安全にも配慮している。 | 全室、洗面台が備わっており、ゆっくりお化粧や身だしなみを整えることもできる。利用者それぞれの生活用品や家具・テレビなどが持ち込まれ、また、花や写真などが飾られている。ベッドの向きも好みで変更し、利用者の好みに応じた生活が送れるように工夫されている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の役割を職員が把握し、無理なく行なっている。 ・できることは声かけ、行ったりと安全についても意識している。 ・工夫しているが、トイレ内に表示がもう少しあった方が良いのではないかなと思う。 | | |

| V アウトカム項目 | | | |
|-----------|--|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 | ○ | ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない |

| | | | |
|----|---|---|---|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ | ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働けている | ○ | ①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。 | ・常に意識をし、共有・実践できるよう掲示している。 ・ミーティングで復唱するなどし、共有している。 ・事業所理念に基づいた日々の業務を全員が意識している。 ・町内行事が予定に多々組み込まれている。 | | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | ・町内のいきいきサロンや地域行事に入居者の方が参加されたり施設でのバッチワーク教室に地域の方が参加されるなどして交流をはかっている。 ・町内行事に参加する機会があることで地域とのつながりを感じる。 ・散歩中や地域の行事に参加した時等、挨拶を交わし、コミュニケーションをとるようにしている。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に活用している。 | ・職員が地域のいきいきサロンのお手伝いをしている。 ・地域の方も一緒に楽しめるよう花火大会を企画している。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | ・運営推進会議では、現状の報告をし、意見を聞くなどしている。 ・会議でご家族から上がった意見・苦情等、管理者よりミーティングを通して伝えられ、話し合っている。 | | |
| 5 | 4 | ○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。 | ・管理者が中心となり、取り組んでいる。 ・運営推進会議等の時は市にも参加を呼びかけてはいるが、なかなかそういった機会が持てていない。 | | |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | ・身体拘束しないケアを日頃から意識して、ケアに取り組んでいる。 ・玄関の施錠は常にはなく、見守りが出来る時は施錠しないようにする等し取り組んでいる。 | | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。 | ・ミーティングで事例などを聞き、学ぶ機会を持っている。 ・どんなことが虐待なのかを勉強し、職員同士で意識している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。 | ・積極的に研修に参加し、またその研修内容を共有している。 ・会議等勉強する機会はあるが、自分自身でも勉強が必要と感じる。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | ・理解していただけるよう説明し、疑問があるときは遠慮なく尋ねていただくよう働きかけている。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | ・運営推進会議にて、意見交換を行なう機会を設けている。 ・食事会や行事などで話せる機会を設けている。 ・面会時に最近の様子を伝えながら意見を交わす機会は多い。 ・利用者からの要望はあまりないと思うが、コミュニケーションをはかる事が大切だと思う。 ・外部からの訪問は積極的に受け入れ、職員以外の人と話す機会を作っている。 ・契約時の重要事項説明書には苦情等の受付窓口を明示している。 | | |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | ・スタッフミーティング等で意見を出し話し合っている。 ・業務日誌等に意見を記入し、聞いてもらっている。 | | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。 | ・考慮してくれている。 ・人事考課で評価して頂いている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。 | ・研修には積極的に参加できる様にしている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。 | ・グループホーム交流会に参加したり、研修などで交流する場がある。 ・勉強会のチラシ等の掲示がいつもある。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。 | ・ご家族や、面接した管理者より話を聞き、職員間で話をしながら努めている。 ・日頃からコミュニケーションをとり、安心していただけるように努めている。 ・自分だけが知っているのではなく、職員皆が周知できるように記録に残し話し合うよう努めている。 ・コミュニケーションをはかる努力はしているが、十分ではないと思う。 ・居室の配置を自宅に近づける等の配慮をし不安や混乱をとりのぞく工夫をしている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。 | ・ご家族様が来訪された際には、ご本人様の近況報告を行っている。 ・面会時等にご家族の意見・要望を聞くようにしている。 ・職員間でも情報を共有し努めている。 ・会話の技術(ご家族が話しやすい)が必要と感じている。 ・努めているが信頼関係が出来ていないと感じることもある。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | ・その方のニーズをしっかりと聞き、入居が適切かどうかを見極めている。他サービスのご案内もさせていただいている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。 | ・関係が築けるよう努力している。 ・日々傾聴を怠らず、ご本人様と一緒に取り組んでいる。 ・出来ているが、更にご本人の力が発揮できるよう努めたい。 | | |
| 19 | | ○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。 | ・日々ご家族へも近況を報告し、協力して頂けるよう努めている。 ・面会時になるべく最近の様子をお伝えし、コミュニケーションをはかるようにしている。 ・家族にご本人の状態を伝える難しさを感じているが、なるべく率直に伝え、同じ気持ちで支えていければと思っている。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | ・友人の来訪があつたり、連絡を取って食事に出かけられる方もおられる。 ・季節の便りを出したりと努めている。 | | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | ・相性を見ながら、関わり合いを持ってもらうよう努めている。 ・全員が仲良くするのは困難だが、互いにストレスの少ない人間関係が作れるよう場のセッティングを心がける。 ・他者との関係が難しい方もいるので、孤立しないような対応に努めたい。また、その人の印象が悪くならないような対応も必要と感じる。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | ・入院退居された方のお見舞いに行ったりしている。 ・そういうことがあれば相談ののったり支援に努めたい。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | ・まずご本人が何を望んでいるかというところから考えなければならないと思っている。 ・コミュニケーションがはかれる方にはご本人に意見を聞いている。難しい方はご家族や職員でその方の立場に立ち考え話し合っている。 ・常にその人の言葉(その人自身から発せられる言葉)を聞けるような努力が必要と思う。 | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | ・ご本人やご家族から話を聞き、把握できるよう努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。 | ・ケースファイルへ記入し、確認するなどして努めている。 ・少なくとも現状維持ができるよう、よく観察しながら対応している。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。 | ・3ヶ月に1回の見直し以外にも変化があればその都度見直しを行なっている。 ・日頃から職員間でよく話し合っている。 ・その人その人によってその方が納得される事を考えて、ケアの方法を工夫している。 | | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 | ・個別のケース記録に記入し、活かしている。 ・状況、状態の記録(簡潔な)だけでなく、具体的な事(言葉)をもっと記録できるよう努めたい。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。 | ・型にはまらない自由な発想が求められると思う。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。 | ・病院や買い物、喫茶、地域行事等できるかぎり行ける場所へはお連れし豊かな暮らしとなるよう努めている。 ・理美容、ハーモニカ、アニマルセラピーや外出の付き添い等ではボランティアの方に生活を支援していただいている。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。 | ・病状に応じては、家族と提携医と看護師、管理者で話し合いながら行なっている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。 | ・小さなことでも看護師へ相談し、アドバイスをもらっている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | ・病院関係者との情報交換をし、受け入れ態勢や早期退院にむけての相談をしている。また、入院中でも入院先に訪問し、状態の把握や環境の変化によるダメージが最小限となるよう努めている。 ・ケース記録を通して、職員にも必ず状況が伝達されている。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。 | ・話し合いをし、本人にとって良い支援が出来るよう取り組んでいる。 ・日頃からそうなった場合について、どう対応したらいいのか、ご本人や家族の希望を聞き、職員間で話し合う機会が欲しい。 ・職員間でケア方法等についてもっと詳しく話し、対応方法を確認しておきたい。 | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。 | ・個人においても継続的に学ばなければならないと思う。 ・振り返りや訓練する機会がもっと欲しい。 ・書面やDVDでの勉強会は時折あるが、訓練までは行っていない。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 | ・定期的に訓練を行っており、消防訓練は全員参加で学んでいる。 ・町内とは協定を結び協力体制を築いている。 | | |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | ・意識し、努力している。 ・言葉遣いをもう少し気をつけたい。 ・繰り返しの言葉に感情が出てしまうことがあるので常に冷静を心がけたい。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | ・本人の希望を尊重し、尋ね、実現できるよう努力している。 ・個々が表現できるような声かけが足りないと感じるので、言葉を引き出せるように努めたい。 ・自己表現が難しい方への働きかけが工夫できたら思う。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その目をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | ・努力している。 ・時には職員のペースで一日が終わることがあるので改善できるよう気をつけたい。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | ・鏡をみていただいたり、お化粧される方はしていただいたり、洋服を選んで着られる方は一言声をかけたりしている。こちらが選ぶ場合は変化をつけるよう心がけている。 ・おしゃれに意識がある方はその気持ちを大切にしていきたい。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | ・できるだけ準備や片付けも一緒にできるのが望ましいと思いい、努力している。 ・手作り昼食会を企画し行なっている。 ・食事の準備は一緒にできる方もいるのもっと参加できるように配慮したい。 | | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。 | ・一人一人にあわせ、食事形態や食事量、食器の種類等に配慮している。 ・記録を確認しながら、水分確保に努めている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。 | ・一人一人にあったケアを行なっている。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。 | ・一人一人をよく観察し、紙パンツやパットに頼らない排泄を目指している。 ・自分で行かれる方でも間隔があてれば声をかけを行なっている。 | | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。 | ・水分を摂るよう声をかけたり、排便の状況により下剤の調整を行なっている。 ・一人一人にあった排便コントロールができるよういつも話しあい、看護師にも相談して行なっている。 ・運動への働きをもっとしていきたい。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。 | ・その人の心身状態を見極め、気持ちよく入っていただけるよう職員間の連絡も必要と感じる。 ・状況に応じて、シャワー浴、清拭を行なっている。 | | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。 | ・しっかりと休んでいただけるよう環境づくりから考え、支援できるよう努力している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | ・個々の薬を認識している。 ・薬の変更時には特に気をつけている。 ・処方箋で確認してはいるが、全員分は把握しきれていない。薬についての勉強は必要と感じる。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。 | ・一人一人に合わせて考え、努力している。 ・外出の機会を増やせたらと思う。 ・更に会話をし、その人が楽しく生活できるよう努めたい。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。 | ・なるべくその時その日の希望で散歩に出たり支援している。 ・季節ごとの行事等ご家族との外出できる環境をつくり、本人の希望にも応えられるように努力している。 ・外出を希望される方が少ないので、「どこどこに行きたい」という思いを持っていただけるような支援がしたい。 | | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | ・お金が所持できる方には持っていたき、ヤクルトの購入やお菓子の購入をされている。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。 | ・季節の便りを書いている。 ・電話での家族交流はしていただいている。 ・何かあった時の電話になっているので、何もない(ただ元気でというだけでも)電話もあっても良いのではと感じる。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | ・配慮している。 ・トイレ等気持ちよく使用できるよう、使用後の確認と配慮が引き続き必要と感じる。 | | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | ・ソファを置いたり、畳を置いたりして、ゆっくりとくつろげる場所を提供できるよう努めている。さらに工夫していきたい。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | ・可能な限り使い慣れた物、なじみのもの、好みのものを置きながら、気持ちよい環境づくりを提供している。さらに工夫していきたい。 | | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | ・安全な環境を整備できるよう努力している。 ・安全を一番に考える事で、出来ることを制限する事がないよう一人一人のことを分かった上で工夫できるよう努めたい。 | | |

| V アウトカム項目 | | | |
|-----------|--|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 | ○ | ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない |

| | | | |
|----|---|---|---|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ | ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働けている | ○ | ①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない |

3 サービス評価の実施と活用状況

事業所の外部評価の実施と活用状況について振り返ります。
「目標達成プラン」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活用状況についての振り返り】

| 実施段階 | | 取り組んだ内容 (↓該当するものすべてに○印) | |
|------|--------------------|----------------------------|--|
| 1 | サービス評価の事前準備 | <input type="radio"/> | ① 運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った |
| | | <input type="radio"/> | ② 利用者へのサービス評価について説明した |
| | | <input type="radio"/> | ③ 利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした |
| | | <input type="radio"/> | ④ 運営推進会議でサービス評価を説明するとともに、どのように評価機関を選択したかについて報告した |
| | | <input type="radio"/> | ⑤ その他（ ） |
| 2 | 自己評価の実施 | <input type="radio"/> | ① 自己評価を職員全員が実施した |
| | | <input type="radio"/> | ② 前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った |
| | | <input type="radio"/> | ③ 自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った |
| | | <input type="radio"/> | ④ 評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った |
| | | <input type="radio"/> | ⑤ その他（ ） |
| 3 | 外部評価（訪問調査当日） | <input type="radio"/> | ① 普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった |
| | | <input type="radio"/> | ② 評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた |
| | | <input type="radio"/> | ③ 対話から、事業所が努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た |
| | | <input type="radio"/> | ④ その他（ ） |
| 4 | 評価結果（自己評価、外部評価）の公開 | <input type="radio"/> | ① 運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った |
| | | <input type="radio"/> | ② 利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った |
| | | <input type="radio"/> | ③ 市町へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った |
| | | <input type="radio"/> | ④ 運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った |
| | | <input type="radio"/> | ⑤ その他（ ） |
| 5 | サービス評価の活用 | <input type="radio"/> | ① 職員全員で次のステップに向けた話し合い、「目標達成プラン」を作成した |
| | | <input type="radio"/> | ② 「目標達成プラン」を利用者、利用者家族や運営推進会議へ説明し、協力やモニター依頼した（する） |
| | | <input type="radio"/> | ③ 「目標達成プラン」を市町へ説明し提出した（する） |
| | | <input type="radio"/> | ④ 「目標達成プラン」に則り、目標を目指して取り組んだ（取り組む） |
| | | <input type="radio"/> | ⑤ その他（ ） |

2 目標達成計画

事業所 グループホーム ハレ・クプナ

作成日 平成 24年 11月 29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価をもとに職員一同で次のステップへ向けた取り組み目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎにならないよう、事業所の現状に合わせた取り組み課題を取り上げ、優先順位を決め目標達成に向けた具体的な取り組み内容を記入してください。

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点, 課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|--------------------------------------|----------------|--|--------------------------|
| 1 | 19 | ハード面での配慮は心がけているがソフト面での心地よさが提供できているのか | 入居者様がやすらげる空間作り | 不安なときは寄り添い、一緒に過ごす時間を意識してつくり、安心・笑顔で過ごせるように考えていく | H24. 12. 1. ~H25. 3. 31. |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。